

ことばをつなぎ、人をつなぐ！ -サービスグリッド技術で、言語サービスを提供-

社会情報ネットワーク講座 広域情報ネットワーク分野
石田・松原研究室

世界中の言語資源（辞書、用例対訳、機械翻訳など）を登録し共有することができる、インターネット上の多言語サービス基盤が「言語グリッド」です。この基盤ソフトウェアは、独）情報通信研究機構言語グリッドプロジェクトによって研究開発され、オープンソースとして公開されています。

公開されたソフトウェアを用いて、社会情報学専攻が、非営利・研究利用を対象に言語グリッドの運営を行っています。2010年8月時点で、17カ国126組織に参加いただいております。90以上の言語サービスを利用することができます。その活用として情報学研究科の留学生と日本人学生のための多言語・多文化コミュニティを形成するための「G30コミュニティサイト」を提供しています。

言語グリッドを通して、様々な研究活動が行われています。例えば、多言語でのコミュニケーションをフィールドで調査・分析し、支援ツールのデザイン・開発をしています。その結果、ゼミなどで利用できるドキュメント共有機能を備えた多言語フォーラム機能を開発し、「G30コミュニティサイト」で提供しています。また、Wikipedia記事の多言語翻訳にも取り組んでいます。



【関連リンク】

- ・ [独立行政法人情報通信研究機構言語グリッドプロジェクト](#)
- ・ [言語グリッド京都オペレーションセンター](#)
- ・ [G30 コミュニティサイト](#)

【ニュースリリース】

- ・ 「ネットで瞬時に多言語翻訳」 2010年3月13日, 京都新聞, 朝刊31面.
- ・ 「研究内容テーマ別発信 大学の知産業界へ」, 京都新聞, 2010年2月23日, 朝刊11面.
- ・ 「[4か国語即翻訳サイト 京大 留学生の生活 支援目指す](#)」 2010年2月20日, 読売オンライン, 読売新聞, 朝刊, 京都35面..
- ・ 「[留学生のための「グローバル30多言語コミュニティサイト](#)」」 2010年2月19日, KBS京都.
- ・ 「4カ国語スラスラ 京大 自動翻訳 留学生向け」, 2010年2月16日, 京都新聞, 朝刊23面.